

まちと人の想いが交わる情報交差点

広 報 甲 佐

12 December 2025
No.677



特集

“もしもの時”に備える防災訓練

- 甲佐高校学園祭レポート
- 「健康映画祭」開催報告

広報こうさ R7.12

CONTENTS

- 02 目次／人のうごき
- 03 令和7年度甲佐町功労者表彰
- 04 特集・総合防災訓練
- 06 特集・甲佐高校文化祭「青垣祭」・健康映画祭
- 08 こうさの話題
- 10 健康だより／甲佐町フィットネスセンター
- 11 スマイル／休日当番医／子育てカレンダー
- 12 図書室へ行こう
- 13 公民館／人権
- 14 甲佐町まちづくり／甲佐高校通信
- 15 甲佐町イベントカレンダー
- 16 町からのお知らせ・くらしの情報
- 22 うたごよみ
- 23 甲佐の野菜で作ってみよう！
- 24 Kosa Style 地域おこし協力隊 蓑田 明子さん（芝原区）

—— 表紙の写真 ——



今月号の表紙は、西寒野区自主防災組織の皆さん。地区住民およそ100人が集まり、消火訓練や炊き出し訓練に取り組みました。訓練を通して防災の重要性を再確認し、災害に強いまちを目指す地区の皆さんの気持ちが伝わります。皆さんは、いざというときの備えは万全ですか？この機会に再度、防災について考え、有事の際すぐ行動できるよう準備しましょう。

🌱 町からの情報をお届けしています 🌱



メールアプリ



ウェブサイト



instagram



メールアプリ「こうさ情報たしかめーる」の登録をお忘れなく！



facebook



X (旧) twitter

🌱 人のうごき（10月31日現在） 🌱

総人口

9,761人 男 4,690人／女 5,071人

前月比

-6人

男 -4／女 -2

○出生 3人
○転入 26人

○死亡 14人
○転出 21人

総世帯数

4,389世帯 前月比 +4

令和7年度 甲佐町功労者表彰式



11月3日(月)、町生涯学習センター・ホールで、令和7年度功労者表彰式が開催されました。

表彰は、町が「町功労者表彰規定」に基づき、毎年文化の日に開催。本年度は多岐にわたり活躍し、町に貢献された清住昇さん(吉田区)と田上美智雄さん(八丁区)が表彰されました。

町関係者や区長などが出席した式典では、受彰者に甲斐高士町長が表彰状と記念品を贈呈。「産業」、「自治」の分野において功績をたたえました。

甲斐町長は、「引き続き町民の皆様の幸福感を高め、活力に満ちた魅力ある甲佐町を築くため、職員一丸となり行政運営に努めて参ります。受彰者の皆様におかれましては、これまでの貴重な経験と知識をもとに、引き続き本町の町政発展・地域振興にご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます」とあいさつ。続いて、宮本修治町議会議長、西坂輝一区長会副会長が祝辞を述べ、功労者を代表して清住昇さんが謝辞を述べました。

また、町表彰規定による感謝状贈呈も行われ、令和7年8月豪雨災害による被害に伴う、災害復旧・復興のため、本町に多額の寄附をいただいた、一般社団法人九州地域づくり協会、令和7年8月豪雨災害からの復旧の一助になればとの趣旨で、災害見舞金として本町に対し多額の寄附をいただいた株式会社ツムラに感謝状が贈られました。



田上 美智雄さん
〔八丁区〕
区長(10年2か月)



清住 昇さん
〔吉田区〕
甲佐町農業委員会委員(9年)
糸田堀土地改良区理事 理事長(12年)

株式会社ツムラ (当日欠席)

令和7年8月豪雨災害からの復旧の一助になればとの趣旨で、災害見舞金として本町に対し多額の寄付

感謝状



一般社団法人 九州地域づくり協会

令和7年8月豪雨災害による被害に伴う災害復旧・復興のため、本町に多額の寄附

感謝状



防災訓練

もしもの時に備える

11月16日（日）、町内各地で甲佐町総合防災訓練が開催されました。

同訓練は午前8時に大地震が発生し、町内全域に避難指示が発表されたという想定で実施され、防災行政無線や最近導入された防災アプリでの訓練放送と同時に各地で訓練がスタートしました。



町生涯学習センターでは、役場職員による研修を実施。新しい防災無線システムの操作研修ののち、令和7年8月豪雨の際の災害対策本部の対応のフィードバックを行いました。

各対策班ごとに災害発生時からの対応を振り返り、実際に対応に当たった職員が課題や問題点など意見を出し合い、今後の対策本部運営の改善点を見直しました。

西寒野区



「自助・共助の防災意識を高め、安全な暮らしづくりに努めていただきたい」との言葉をかける町長。

パッククッキングでは、材料を混ぜ入れたビニール袋を湯がいて「ごはん、卵焼き、切り干し大根煮、かぼちゃ煮、蒸しパン」が作られた。



西寒野区
永野 健一 区長

西寒野区では、今回およそ100名の住民の皆さんに参加していただきました。実際に燃えている天ぷら油火災を消火する訓練を行い、多くの方に消火器を使ってもらえたことは、大変貴重な経験になったと思います。また、婦人部による炊き出し訓練では、芋煮に加え、お湯だけで調理できる「パッククッキング」も実施しました。

このような訓練を地域の皆さんと一緒に行うことで、普段あまり顔を合わせない方や、新しく住み始めた外国人の方々とも交流する機会となり、いざという時に声を掛け合え、安心して暮らせる地域づくりにつながると感じています。

西寒野区では、毎年6月にも役員による防災訓練を行っており、防災士資格の取得支援の仕組みも整えています。今後は、若い世代にも防災意識を引き継いでいけたらと考えています。

吉田区



吉田区
山内 勲 区長

今年8月の豪雨では、地区内で浸水の被害も起こり大変な思いをしました。今回の訓練では、防災士を中心に、消防団による消火栓からの放水の訓練やおにぎりや温かい汁物などの炊き出し訓練を行いました。日頃から防災への意識を持ち、災害に備えることの大切さを再認識することができました。また、住民の防災への意識づけも大切ですが、子どもから大人まで集まり一緒に訓練を行うことで、地域の融和を図る機会となったこともよかったと思います。これからも訓練を続けていきたいと思います。

竜野地区



130人ほどが参加して、避難所運営の訓練を行いました。災害発生後、龍野小学校に避難所を開設したと想定し、避難所運営訓練を実施。防災士の指示の下、班ごとに避難所の管理・運営を行いました。段ボール製の簡易ベッドの組み立てや簡易テントの設営などを体験し、災害時における円滑な避難所運営を学びました。

青春あふれる！ 甲佐高校学園祭レポート

安井政史さんトークショー



11月7日(金)・8日(土)、
甲佐高校文化祭「青垣祭」が開催されました。

校舎内には生徒たちが工夫をこらした展示やゲームなどで楽しめる体験コーナーが出展。ステージではダンスや歌、バンド演奏なども披露され、大いに盛り上がりました。

また、町内の店舗が集まる「甲佐うまいもんバザー」には、高田精肉店、まるしげ家、よりどころえんがわ、NEWOLD、ダイニングスペース樂時、Blue Marble の人気のグルメが並び、多くの来場者でにぎわいました。

2年生 ステージ発表「SING~オレたちの青春~」



有志による太鼓演奏



芸術選択・3年国語・分教室合同ステージ発表



国語科職員バンド演奏



3年生有志メンバーによるバンド演奏



食品バザー



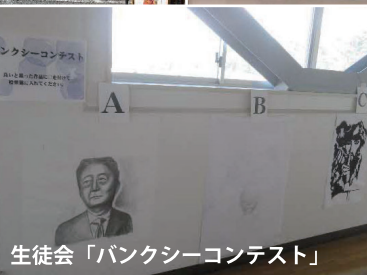
松橋西分教室の生徒作成
切り絵
二枚後(ハートができる石橋)



3年生C ヨーヨー釣り



甲佐うまいもんバザー

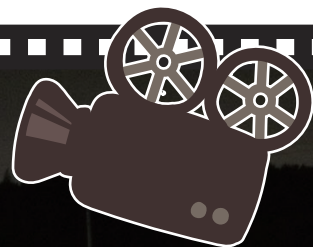


生徒会「バンクシーコンテスト」



1-3「3つのゲーム」

健康映画祭



11月2日(日)、熊本甲佐総合運動公園にて「健康映画祭」が開催されました。医療や健康についての意識を高めてもらうために、「はたらく細胞」が上映され、大人も子どもも楽しみながらからだの仕組みについて学ぶことができました。

また、会場内にはキッチンカーや屋台が並んだほか、マスクケースづくり体験や鍼灸マッサージブースも用意され、健康について見直す機会となりました。

実行委員会の方に聞きました

Q. 当日の雰囲気、来場者の反応や印象に残ってる出来事がありましたか？

多くのお客様に足を運んでいただきました。上映した映画はすでに見たことがあるという方もいましたが、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいた良かったです。

Q. 今後、「健康映画祭」をどのように続けていきたいですか？

これからも「健康」をテーマに活動を続けていき、町民の皆様にももっと健康について関心を持ってもらえるようなイベントができればいいなと思っています。

健康映画祭

あのヒット映画が甲佐町にやってくる！

夜空の下、500インチの巨大スクリーンで楽しむ、ちょっと特別な野外上映会！
フードマルシェや健康ブースもあって、ご家族みんなで楽しめる一日！

上映作品

笑って泣いてタメになる「はたらく細胞ワンダーランド」へようこそ！



映画『はたらく細胞』

日時：2025年11月2日(日)

場所：熊本甲佐総合運動公園
緑川リバーサイドパーク
(南元浜は甲佐町役場「緑・ホール」)

開場：15:30
上映：18:00頃予定

料金：無料(事前申込制)
子どもから大人まで楽しめる作品です

観覧のお申込みは
こちらのQRコードより



【注意事項】

- 会場には、椅子やシートはございません。参加者ご自身で椅子やシートをご持参ください。
- 雨天時等で会場が変更になった場合、入場制限を設ける可能性があります。
- その際は「事前申込」を完了されている方からの優先入場となりますので予めご了承ください。
- 開催場所が変更になる場合、SNS等でも開催状況は更新しますのでご確認ください。

お問い合わせは 右のQRコードからアクセスし、お問い合わせフォームよりお願いいたします

主催：甲佐町健康映画祭実行委員会 共催：上益城郡医師会（地域在宅医療サポートセンター事業）

イベントの案内チラシ



熊本県理学療法士協会による
鍼灸もみほぐし体験



マスクケースづくり



屋台を楽しむ子どもたち



屋台を楽しむ子どもたち



映画を鑑賞する来場客



屋台を楽しむ来場客



映画を鑑賞する来場客



屋台を楽しむ来場客



▲山椒ビール完成を喜ぶ甲斐町長（左）と山椒組合の田上菊夫会長

甲佐産の山椒がビールに 山椒のクラフトビールが完成

本町産のサンショウを使って醸造された、クラフトビール「山椒ビール」が完成しました。

本町では、令和5年度に宮内地区山椒生産組合（田上菊夫会長）と株式会社ツムラと3者で包括連携協定を締結。山椒栽培を広げ、地域活性化や雇用促進につなげることを目的として、山椒を栽培する農業者や商品開発を応援しています。



▲淡い黄色い花から甘い香りを漂わせる「麻生原のキンモクセイ」

秋の訪れを告げる甘い香り 国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」

10月29日（水）、国天然記念物「麻生原のキンモクセイ」が開花しました。この「キンモクセイ」は、麻生原居屋敷観音の境内に茂ったモクセイ科のウスギモクセイ、樹高約18m、幹回りは約3m。今年は、残暑が続き、昨年よりも20日ほど遅れての開花となりましたが、今年も淡い黄色い花から甘い香りを漂わせていました。



▲認知症高齢者と出会った場面のロールプレイを体験する白旗小児童

認知症を正しく学ぼう 認知症サポーター養成講座

11月6日（木）、白旗小学校で特別授業「認知症サポーター養成講座」が行われました。同授業は児童が認知症を正しく理解し、支援の必要性について学び、家族や地域へ伝えてもらうことを目的として、町内の各小学生を対象に実施。児童たちは、認知症に関する説明を受けたあと、認知症の方に出会った際のロールプレイやグループワークなどを行い、認知症への理解を深めました。



▲役場前バス停から予約制町営バスに乗り込む町民の皆さん

地域に寄り添う公共交通へ 予約制町営バスの実証実験運行開始

11月1日（土）、予約制町営バスの実証実験運行が始まりました。予約制町営バスとは、利用者の予約に応じて、予約のあった停留所間のみを運行する乗合交通です。従来の町営バス（定時定路線方式）に代わる公共交通として、宮内地区と竜野地区を主に運行しています。利用には、事前に会員登録が必要です。詳細は町企画課（☎096-234-1115）へお尋ねください。



▲九州打楽器合奏団と一緒に楽器演奏を体験する乙女小児童たち

芸術に触れ豊かな創造力を いきいき芸術体験教室を乙女小で開催

11月6日（木）乙女小学校で、いきいき芸術体験教室が開催されました。同事業は、小・中学校などで音楽鑑賞会を実施し、生の音楽に接することで豊かな創造力や情操をはぐくみ、子どもの健全な育成を図ることを目的に県教育委員会などが実施。児童たちは、九州打楽器合奏団の公演を観賞したほか、さまざまな楽器の演奏を体験して、音楽の楽しさを実感しました。

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた株式会社大三元（東京都・錢妙玲代表取締役）と日本明星花露水株式会社（東京都・簡懷慈代表取締役）に町から感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税制度は、人口減少や地域経済の衰退に悩む地方創生を後押しする目的で作られた制度。本町もこれまでに数多くの企業から寄附をいただき、地方創生の取り組みに活用させていただいています。

今回、寄附をいただいた株式会社大三元は、日本の不動産を国内外の顧客に紹介を行う不動産仲介業を営む企業。9月19日（金）、三輪孝之副町長から錢妙玲代表取締役に感謝状が手渡されました（写真上）。

日本明星花露水株式会社は、台湾で老舗の香水やルームフレグランスを取り扱う企業。10月22日（水）に町役場で、三輪孝之副町長から同社日本市場開拓代表責任者の坂本和也さんに感謝状が手渡されました（写真下）。



▲パトロール前に堀田団長の訓示をしっかりと聞く幼年消防クラブ

園児たちが火災予防を呼びかけ 幼年消防クラブが防火啓発パレードを実施

11月7日（金）、「秋の全国火災予防運動」に合わせて町商店街などで若草保育園の幼年消防クラブ、町消防団による防火パレードが行われました。

同パレードは、防火に対する意識の向上や火災予防の呼びかけを目的に毎年実施されています。幼年消防クラブの園児たちは、町商店街を歩いて回り、住民に防火啓発のチラシを配り、火災予防を呼びかけました。



▲三輪副町長から感謝状を受け取った錢代表取締役（右）



▲三輪副町長から感謝状を受け取った坂本さん（写真左）

健康だより

出口 萌 さん
(保健師)

変化の起きやすい「冬の血压」に気を付けましょう

寒さが厳しくなる冬は、血压が上がりやすくなる季節です。特に朝晩の冷え込みが強い時や、暖かい部屋から寒い場所へ移動する時は、急な血压の変化が起きやすく、注意が必要です。

冬に血压が上がるのは、①寒さで血管が収縮する、②暖房の効いた部屋との温度差（ヒートショック）、③年末年始の飲みすぎ・食べすぎ（塩分やアルコールの過剰摂取）、④運動不足などの原因があり、こうした要因が重なると、血压のコントロールが難しくなり、脳卒中や心筋梗塞などのリスクが高まります。

●日常生活で気を付けたいポイント

①入浴時に注意したいこと

- ・脱衣所や浴室をあらかじめ暖めておく
- ・熱すぎるお湯（42℃以上）は避け、38～40℃程度でゆっくり入る
- ・いきなり浴槽に入らず、かけ湯で身体を慣らす
- ・浴槽から急に立ち上がりず、ゆっくり動く
- ・飲酒後すぐの入浴は控える

温度差を小さくすることで、血压の急上昇・急降下を防ぐことができます。

②食生活について

塩分を摂りすぎること、血压が上がりやすくなるので、減塩を心がけましょう。

- ・みそ汁は具たくさんにして、汁を少なめにする
- ・漬物や加工食品（ハム、ウインナー、ちくわなど）は控えめに
- ・だしや香辛料を使って“薄味でもおいしく”

また、野菜や果物に多く含まれるカリウムには、塩分を身体から出す働きがあります。バナナ、ホウレン草、海藻類など日々の食事に取り入れましょう。

③運動について

寒くなってくると身体を動かすのがおっくうになりますが、軽い運動は血压を安定させることにつながります。室内でのストレッチやラジオ体操、天気の良い日の散歩など、無理のない範囲で身体を動かすことが大切です。

④毎日の血压測定を行いましょう

自宅での血压測定は、自分の身体を知る第一歩です。測定は1日2回、朝（起床後1時間以内・排尿後・朝食前・薬を飲む前）と、夜（就寝前・入浴や飲酒の直後は避ける）に測定しましょう。記録を続けることで、体調の変化に付きやすくなるので、血压を記録できるアプリや血压手帳の活用をしてみてください。手帳が必要な方は、保健福祉センターでお渡ししています。

寒い季節の血压変化は、誰にでも起こりうることです。上記のポイントを押さえて、寒い冬を元気に過ごしましょう。

●お問い合わせ先

町健康推進課 ☎096-235-8711

Fitness

甲佐町フィットネスセンター

笑って動いて、脳も心も元気に！

甲佐町フィットネスセンターでは、認知症予防教室『元気になる脳活』を開催します。

物忘れが気になる方、楽しく運動したい方、認知症予防に取り組みたい方など、

ウォーキング、ラダートレーニングなどです。

少し難しいことも笑いながら、みんな楽しく取り組んでいきましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今月の講師

那須 賢志さん
(健康運動指導士)

い方など、どなたでもご参加いただけます。

講座内容は、ストレッチ、筋力トレーニング、二人組での

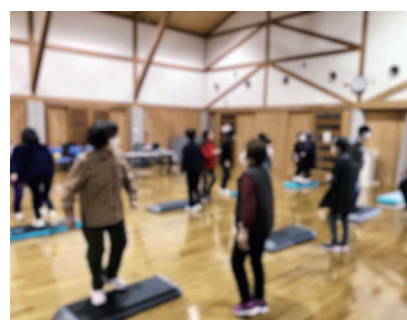
●開催日時 12月20日（土）、28日（日）午後1時～午後2時

●参加費 施設使用料のみ

●定員 15名程度

●参加申し込み

電話または同センターフロントで受け付けます。定員に達し次第、受付を終了します。



▲「元気になる脳活」で体も心もリフレッシュしましょう

●お問い合わせ先

甲佐町フィットネスセンター
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8712

スマイル

わが家の「笑顔」を紹介します

赤ちゃんの笑顔
募集中！未就学児のお子さんの
笑顔を広報紙に掲載しま
せんか？応募期限は

毎月7日まで。

ご応募お待ち

しています▶



■お問い合わせ先

町企画課

☎096-234-1115



城澤 和虎 ちゃん (3歳)

父・太路馬 さん

母・真希 さん (芝原区)

ドキドキの運動会の後に食べる
ソフトクリーム、幸せの味♡

赤星 陽那乃 ちゃん (3か月)

父・敏成 さん

母・李音 さん (中横田区)

にいとと一緒に♡

12月・1月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+4か月児健診

12月18日(木) 午前10時

1月15日(木) 午前10時

+7か月児健診

12月18日(木) 午前9時30分

1月15日(木) 午前9時30分

+11か月児健診

12月18日(木) 午前9時

1月15日(木) 午前9時

+1歳6か月児健診

1月13日(火) 午後1時

+すくすく2歳児子育て相談

12月19日(金) 午前9時20分

+3歳児健診

1月13日(火) 午後1時10分

※健診などの日時は変更となる場合
があります。対象の方に個別にお送
りする通知を必ずご確認ください。

● 12月の子育て支援カレンダー

●甲佐町子育て支援センター(電野保育園内) ☎096-234-0305

1日(月) 身体測定(身長・体重)

3日(水) シール遊び

5日(金) クリスマスリース作り

8日(月) 風船遊び

10日(水) シャボン玉遊び

12日(金) お散歩

15日(月) ボール遊び

17日(水) 園庭遊び

19日(金) クリスマス帽子作り

22日(月) ブロック遊び

24日(水) クリスマス会(要予約)

26日(金) 製作

育児相談(電話・面接) 月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●休日当番医

月 日	当番医	電話番号
12月7日	谷 田 病 院	096-234-1248
12月14日	小 屋 迫 医 院	096-234-0165
12月21日	荒 瀬 病 院	096-234-1161
12月28日	甲佐眼科クリニック	096-235-5600

●休日当番薬局

月 日	当番医	電話番号
12月7日	コ ー セ ー 薬 局	096-234-1491
12月14日	甲 佐 薬 局	096-234-3876
12月21日	三 恵 薬 局	096-234-3678
12月28日	甲 佐 薬 局	096-234-3876

●日程は変更になる場合があります。最新情報は町公式ウェブサイトなどをご確認ください



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



▲「人権」特集コーナーは、町図書室受付カウンター前に設置しています

■人権について考えるきっかけに
12月4日(木)～10日(水)までの「甲佐町人権週間」に合わせて、町図書室では「人権」特集コーナーを作り紹介しています。

一般書は、部落差別(同和問題)をはじめ、女性・子ども・高齢者への差別や偏見、ハラスメントなどのさまざまな人権課題についての啓発

本。児童書は、人権や憲法についてマンガやイラストで解説している本などを紹介しています。この機会に身近にある人権問題に気付き、お互いの人権を尊重し合うことの大切さを考えるきっかけにしませんか。

0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

日時

12月11日(木) 午前10時30分～

会場

おはなしのへや(町生涯学習センター図書室内)

新着図書紹介

一般書



イン・ザ・メガチャーチ
朝井リョウ 著/日経 BP 日本経済新聞出版
「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」…ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。読み応えのあるおすすめの本1冊です。



いただきます
喜多川泰 著/ディスカヴァー・トゥエンティワン
楽に稼げると聞いて警備員のバイトを始めた19歳の翔馬。大学の守衛室で一緒に働く3人の過去を知り、世界の見方が変わっていく。仕事とは何か、人生とは何か、生命のつながりとは…。日常の中の大切な事実気付かされる1冊です。



どら蔵
朝井 まかて 著/講談社
天保の世。大坂にいらなくなった道具商の放蕩息子「どら蔵」こと寅蔵は、江戸の骨董商の世界へ。お宝を巡って時に騙され、時に勝負をかけ、ときどき情に流され…。魅力的なお宝と魅力的な登場人物たちに引き込まれる時代小説です。

児童書



クリスマスのくつした
エリナー・ファージョン 詩 石津ちひろ 訳 ぼりかりまこ 絵/のら書店
暖炉のうでで時計がチクタクになっている。クリスマスのくつしたに今夜なにが届くと思う？イギリスの児童文学作家エリナー・ファージョンによる幸せに満ちた詩を、あたたかな日本語訳と、やわらかな光あふれる美しい絵で届けます。



ずっと工事中! 沢田マンション
青山邦彦 著 加賀谷哲朗 監修/学芸出版社
田んぼや釣りぼり池、迷路のような階段、屋上クレーン。なんでも手づくりする夫婦が、巨大マンションをつくった! 変わり続けるマンションの建設と改造の様子を描く、ウソのようなホントの話。子どもも大人も楽しめる絵本です。



ふしぎ駄菓子屋銭天堂 吉凶通り4
廣嶋 玲子 作/jyajya 絵/偕成社
健次郎は妻と娘の3人で、さびれた通りにある一軒の定食屋に入る。そのかべには変わった名前のメニューがびっしりと書かれていて…。「冒険バーガーセット」をはじめ「紅子のランチ」など全7編を収録。大人気シリーズ最新刊です。

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ

●甲佐町人権週間啓発作品展示

町内の児童・生徒等が作成した人権啓発作品を展示します。

▶期間 12月8日(月)～12月15日(月)



▲昨年度の作品展示の様子

町公民館自主講座

公民館自主講座の受講生を募集しています



▲今年4月に開催された自主講座学習発表会のステージ発表で行われたレクリエーションダンス

町公民館では、町民の皆さんの教養の向上や、健康の増進を目的に公民館自主講座を開設しています。

講座は、全26講座が開設されており、手工芸教室・料理・文化・教養・音楽・スポーツ・健康とさまざまな分野の講座が実施されています。

今年4月には、町生涯学習センター・ホールおよびギャラリーモールで日頃の練習の成果を披露する「甲佐町公民館自主講座学習発表会」が開催されました。

随時、自主講座の受講生も募集していますので、お気軽に町教育委員会公民館事務局(町社会教育課内)にお尋ねください。講座名・日時・内容については、町公式ウェブサイト「公民館自主講座一覧」を掲載していますので、ぜひご覧ください。

なお、講座の受講申し込みや受講料、教材費等については、各講座の講師へお尋ねください。

夢や希望を実現できる人権・同和教育を

人権、心豊かに暮らすために

第53回熊本県人権教育研究大会

10月18日(土)・19日(日)、「第53

回熊本県人権教育研究大会」が荒尾総合文化センターおよび荒尾玉名地区18の分科会会場で開催され、県内の教職員・行政職員などが参加しました。

大会テーマの『部落差別の現実から深く学び人間を尊敬し、人と結び、豊かな関係に高めうる教育の営み』および大会地元テーマ『いまいちど差別が見えるところに立ち そこから子どもたちの夢や希望を実現できる人権・同和教育を荒玉の地から創造しよう』を掲げ、講演会や実践報告などが行われました。

地元特別報告では、部落解放同盟熊本県連合会荒尾支部書記長の坂田孝志さんが『自分の話』と題し講演。子どもたちの今でも心に残っているエピソードなどから、同和教育に対してマインズな考えだった坂田さんが「解放運動をとおりて自分を取り戻していった、自分自身が以前に比べ優しくなってきたと思う。今後は明るく楽しい人権学

習を広めていきたい」と話されました。

分科会の「人権確立をめざす教育の創造」では龍野小の田中大智先生が「ずっとみんなと一緒にいたいと思っています。」と題し、レポート報告。先生自身と父親の関係を教材化した「ずっと言えなかったこと」の人権学習で、子どもたちも「ずっと言えなかった」自分の想いを相手に伝えることができ、相手の気持ちをしっかりと受け止めることができるクラスへと変わっていきます。「これからも自分自身をしっかり見つめ、子どもたちと共に成長し続けていきたい」と話されました。



▲第53回県人教大会の開会式の様子

甲佐のまちづくり

「Canva (キャンバ)」を使っておしゃれな
リール動画を作ってみませんか

■「Canva (キャンバ)」でくくる

魅せるリール動画作成講座催

起業等応援施設「MEBKAS

(メブカス)」では、初心者でも簡単
におしゃれなリール動画が作れる
無料デザインツール「Canva
(キャンバ)」を使って、実践的に
学ぶ講座を開催します。

テンプレートを活用しながら、
実際にパソコンを操作し、自分の
事業やイベントのPRに活かせる
動画を作ってみませんか。

デザインの知識がなくても大丈夫
夫！お店やサービスの紹介・イベ
ントの告知など、すぐに活用でき
る動画づくりを一緒に体験しま
しょう。



▼開催日時

12月16日(火) 午後2時～4時

▼会場

起業等応援施設「MEBKAS」
サロンスペース

▼対象

事業者、個人の方の参加も可

▼必要なもの

ノートパソコン (Wi-Fiに接続
できるもの)

▼参加費

無料

▼内容

・「Canva」の魅力

・「Canva」の基本操作

・テンプレートを使った動画づく

▼参加申し込み

次の二次元コードを読み込み、
応募フォームからお申し込みくだ

さい。



▼お問い合わせ先

起業等応援施設「MEBKAS」
みらい株式会社

0969・24・8775

魅力発信！甲佐高校通信

vol. 33

県立甲佐高校 (甲佐町横田 327)

☎ 096-234-0041

甲佐高校の魅力を発信！
「かみましきマルシェ」に出店

10月18日(土)・19日(日)、嘉島
町のイオンモール熊本で開催された
「かみましきマルシェ」に参加しまし
た。

本校は、甲佐町豪雨災害復興支援
の一環として「木村のあられ」のあ
られ販売ブースを出店。2日間にわ
たり販売し、目標の200個を完売
することができました。

購入してくださった方には、生物
の授業で制作した葉脈の葉(しおり)
をお渡ししました。この葉には、福
社の授業で学んだ点字が押されてお
り、生物と福祉の二つの授業の学び
を融合させた、生徒の手作りの作品

となりました。多くの方に手に取っ
ていただき、生徒たちの取り組みを
直接感じてもらえる機会となりました。
また、ステージイベントでは、
音楽部生徒8名による演奏が行われ、
来場された方々から大きな拍手をい
ただきました。

会場内に展示した学校紹介パンフ
レットや展示パネルにも、多くの方
が関心を示され、生徒や教員が甲佐
高校の特色や活動内容を直接紹介す
る貴重な機会となりました。多くの
方々との交流を通して、生徒たちが
主体的に発信し、学校の魅力を広め
る有意義な2日間となりました。



▲「木村のあられ」のあられ販売のブース(写真上)、
音楽部によるステージイベントでの演奏の様子(下)



甲佐高校ホームページでも
高校ライフを発信中です▶

R7.12 甲佐町イベントカレンダー



◀ 詳細はウェブサイト
でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
11/30	1 行政区配布 (町総務課) 納期限 (町税務課) 法律・人権・行政相談 (町福祉課)	2	3	4 消費生活相談 (町福祉課) 甲佐町人権週間 (～10日) (町民センター)	5	6
7 熊本甲佐10マイル 公認ロードレース 記念大会 (町社会教育課)	8 人権週間作品展示 (～14日) (町民センター)	9	10	11 消費生活相談 (町福祉課)	12	13 人権週間町民集会 (町民センター)
14 通常収集しない ごみの収集日 (町環境衛生課)	15 心配ごと相談 (町福祉課)	16	17 認知症について の相談会 (町福祉課) マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	18 消費生活相談 (町福祉課) 4か月・7か月・ 11か月児健診 (町健康推進課) 口座振替 (町税務課)	19 すくすく2歳児 子育て相談 (町健康推進課)	20
21	22 納期限 (町税務課)	23	24	25 消費生活相談 (町福祉課)	26 行政区配布 (町総務課) 夜間窓口 (町税務課)	27 年末年始閉庁日 (～1/5)
28	29	30	31	1/1 元旦	1/2	1/3

※ やむを得ず中止・延期になる場合があります。

12月は「国民健康保険制度適用適正化月間」

■国民健康保険資格の適正な適用にご協力をお願いします

町では、毎年12月を「国民健康保険制度適用適正化月間」と定め、国民健康保険の資格の適正な適用を推進しています。

■国民健康保険の加入や脱退に関する届け出をお忘れなく

国民健康保険は、74歳までの社会保険（職場の健康保険、組合、船員保険）の被保険者およびその被扶養者を除くすべての人が加入する制度です。

社会保険を脱退または加入など資格の変更があった場合は、町住民生活課へ届け出をお願いします。

■国保への届け出が必要な手続き

●国民健康保険への加入届

社会保険から脱退した場合に届け出が必要です。

▼手続きに必要なもの

離職票や資格喪失証明書などの社会保険を脱退した証明書、マイナンバーカードもしくは身分証明書

●国民健康保険の脱退届

社会保険に加入した場合に届け出が

必要です。

▼手続きに必要なもの

あたらしく取得した資格確認書または資格情報のお知らせ、国民健康保険資格確認書（返却が必要です）、マイナンバーカードもしくは身分証明書

■社会保険の被扶養者になれる場合がありますのでご確認を

同じ世帯に社会保険の被保険者がいる場合、その保険の被扶養者として認定されることがあります。扶養認定できるかはお勤め先にご相談ください。

■所得の申告を忘れずに

国民健康保険税の軽減判定・税率決定、医療費の限度額認定に必要となりますので、所得の申告がお済みでない人は、町税務課にご相談ください。国保制度の健全な運用、国保資格の適正な適用についてご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

・国民健康保険の資格について

町住民生活課

☎096・234・1113

・国民健康保険税や所得の申告について
町税務課

☎096・234・1112

令和8年甲佐町二十歳（はたち）の成人式のご案内

町では、大人の仲間入りをされた皆さんの輝かしい未来を祝福し、明日の甲佐町を担う若者の今後の活躍を期待して、「甲佐町二十歳の成人式」を次のとおり開催します。

▶開催日時

令和8年1月11日（日）

- ・受付開始 午前9時
- ・記念撮影 午前10時
- ・式典開始 午前10時30分

▶会場

町生涯学習センター・ホール

▶対象

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人
※対象の皆さんには、11月に案内を送付していますのでご確認ください。通知に出欠回答フォームの



▶昨年度の式典の様子

URL および二次元コードを添付していますので、パソコンやスマートフォンなどを使用して回答をお願いします。

【お問い合わせ先】 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447

社会保険料控除を受けるには控除証明書が必要です

■納めた国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となり、その年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除の対象となるのは、令和7年1月～12月に納付した保険料の全額で、過去の年度分や追納分も含まれます。

また、ご自身の保険料だけでなく、配偶者やご家族（お子様など）の負担すべき保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

■社会保険料控除証明書は大切に保管しましょう

令和7年中に納付した保険料について社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、令和7年1月1日（水）～9月30日（火）の間に保険料を納付された方には、10月下旬～11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民

年金保険料）控除証明書」が送付されますので、申告書提出の際には必ずこの証明書または領収証書を添付してください。

10月1日（水）～12月31日（水）の間に、今年初めて保険料を納付された方へは、令和8年2月上旬に送付されます。

控除証明書についての照会は、控除証明書のがきに表示されている日本年金機構の電話番号にお問い合わせください。

■保険料は期限内にきちんと納めましょう

税法上とても有利な国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。

保険料は納め忘れないよう、きちんと納めましょう。

【お問い合わせ先】

町住民生活課

☎096・234・1113

甲佐町おやこ手帳（電子母子健康手帳アプリ）を導入しました

妊娠期から出産、子育て期において切れ目のない支援の一環として、母子健康手帳機能と子育て支援機能を併せ持った「甲佐町おやこ手帳」の提供を開始しました。

このアプリでは、妊娠・出産・子育ての記録がスマートフォン上で管理できるようになり、家族と共有することもできます。従来の紙の母子健康手帳と併せて、ぜひご利用ください。

●主な機能

・電子母子手帳機能

子どもの成長記録・成長写真・乳幼児健診の記録などができます。

・予防接種スケジュール

生年月日等の情報を入力することで、自動で予防接種のスケジュールが作成されます。接種の日程変更後も自動調整機能があるので、安全安心に予防接種を受けることができます。接種忘れ防止のプッシュ通知機能もあります。

・医療機関、保育園検索

Google Mapと連動しているため、町内の医療機関・保育園の検索や経路検索に対応しています。

・子育て情報の配信

メール配信やプッシュ通知で町からのお知らせをタイムリーに受け取ることができます。

アプリの利用方法やダウンロード等について、詳しくはホームページをご確認ください。

【お問い合わせ先】

町健康推進課

（町総合保健福祉センター内）

☎096-235-8711



▲「甲佐町おやこ手帳」町公式ウェブサイト二次元コード

くらしの情報

LOCAL NEWS &
LOCAL INFORMATION

❖ イベント等の開催に関する詳細は
各問い合わせ先にご確認ください

お知らせ

年末年始の旅券申請・交付
受け付けについて

町では、パスポート（旅券）の申
請・交付受付を行っています。

パスポートの交付申請から受け取
りまでに12日間（土・日曜日、祝日
および年末年始を除く）を要します。
12月27日（土）から令和8年1月
4日（日）まで旅券申請・交付窓口
は休みとなりますので、申請が必要
な場合は、余裕を持って町住民生活
課窓口までお越しください。

▼申請受付時間

月曜日～金曜日 午前9時～午後
4時30分

※土・日曜日、祝日および年末年始
を除く

マイナンバーカードを利用したマ
イナンバーからのオンライン申請

お問い合わせ先一覧

- ❖ 甲佐町役場
096-234-1111（代表）
- ❖ 甲佐町保健福祉センター
096-235-8711
- ❖ 甲佐町教育委員会
（町生涯学習センター）
096-234-2447
- ❖ 水道管理センター
096-234-0755
- ❖ 町民センター
096-234-2459
- ❖ 老人憩いの家
（（社）甲佐町社会福祉協議会）
096-234-0423
- ❖ 御船町甲佐町衛生施設組合
（クリーンセンター）
096-282-0688
- ❖ 上益城消防署
096-282-1955
- ❖ 御船警察署
096-282-1110
- ❖ 上益城広域連合
096-237-2891
- ❖ 県上益城地域振興局
096-282-2111（代表）
- ❖ 県御船保健所
096-282-0016
- ❖ 県庁
096-383-1111（代表）

も可能です（12月31日（水）午後10
時～令和8年1月2日（金）午前3
時は、メンテナンス期間のため申請
不可）。

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎ 096・234・1113

（内線101）



被災した住宅復旧のための
融資を行っています

住宅金融支援機構では、大雨災害
で住宅に被害を受けた方（「被災証
明書」を交付されている方）向けに
住宅を復旧するための「災害復興住
宅融資」を行っています。

浸水して破損した床・壁等を補修
する費用も融資の対象となります。
また、ご高齢の方向けの「親子リ
レー返済」、「親孝行ローン」、「高齢
者向け返済特例」などさまざまなメ
ニューもありますので、お気軽にご

相談ください。

※補修資金の他に、建設・購入資金
メニューもあります。詳しくはお
尋ねください。

▼お問い合わせ先

独立行政法人住宅金融支援機構熊
本センター

☎ 096・241・6180



後期歯科口腔健診の
受診はお済みですか

後期高齢者医療被保険者を対象と
した歯科口腔健診は、12月31日
（水）までです。

受診期限が近づいていますので、
早めの受診をお願いします。

受診を希望する人は、事前に対象
の歯科医院に予約をし、資格確認書
と受診券、自己負担額400円を準備し、
受診してください。

歯科口腔健診の詳細は、町住民生

活課へお尋ねください。

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎ 096・234・1113

（内線107）



個別健診の受診はお早めに

9月から実施している個別健診の
受診期間は、12月27日（土）まで
です。町民のみなさんがご自身の体の
状態を把握し、元気に生活してい
ただくために、年に1度は健診を受け
ましょう。

▼対象者

令和7年4月1日現在40～74歳の
国民健康保険被保険者で、7～8月
に実施した集団健診を受診してい
ない人。

※個別健診の対象者には、9月上旬
頃、受診券を郵送しています。

▼実施期間

12月27日（土）まで

▼健康診査内容

体格検査（身長・体重・腹囲・B
M）、血圧測定、血液検査（血中
脂質検査・肝機能検査・血糖検査・
腎機能検査）、尿検査、医師の診察
など（がん検診は含まれません）

▼受診料

個人負担金1,300円

個別健診を希望する人は、町の指
定医療機関に事前に予約をお願いします。指定医療機関については、町
公式ウェブサイトをご覧ください。

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113



安全な区域への住宅移転費用
等の一部を補助します

町では、頻発する豪雨などによる
土砂災害から町民の安全を守るため、
土砂災害特別警戒区域（レッドゾー
ン）内の危険住宅から、熊本県内の
安全な区域（レッドゾーン・イエ
ローゾーン外）へ移転する人に、住
宅の除去費用や移転費用の一部を補
助します。

●土砂災害特別警戒区域（レッド
ゾーン）とは

土砂災害の恐れのある区域であり
建物が破壊され、住民に大きな被害

が生じる恐れがある区域であり、ご
自宅が区域に含まれているかどうか
は県ホームページ掲載の「熊本県土
砂災害情報マップ」で確認できます。

▼対象者

土砂災害特別警戒区域（レッドゾー
ン）内在住者

▼交付要件

- ①現在お住まいの住宅の除去
- ②熊本県内の安全な区域への移転
- ③除去した後の跡地に住宅用の建築
物を建築しないこと

▼交付要件

上限300万円

詳しくは、町建設課にお問い合わせ
してください。

▼お問い合わせ先

町建設課

☎096・234・1183

募集

道路の清掃や除草などの
ボランティアを募集します

県では、県が管理する道路での清
掃や除草、植栽などのボランティア
活動の支援を目的として、「ロード・
クリーン・ボランティア募集」を実
施しています。

個人や団体を問わず申し込み可能
で、ごみ袋や軍手などの支給、清掃

用具の貸し出し、保険の加入補助な
どの支援を行っています。
多くの皆様のご参加をお待ちして
います。

▼お問い合わせ先

県道路保全課

☎096・333・2495

放送大学4月入学生を募集

放送大学では、4月入学生を募集
しています。

10代から90代の幅広い世代、約
8万2千人以上の学生が、大学を卒
業したい、学びを楽しみたいなど、
さまざまな目的で学んでいます。

授業には3つのスタイルがあり、
BS放送やインターネットで視聴す
る、また、講師から直接受ける授業
があります。心理学・福祉・経済・
歴史・文学・情報・自然科学など、
300以上の幅広い授業科目があり、
1科目から学ぶことができます。卒
業すれば学士の単位を取得できます。
募集要項などは、お気軽に放送大
学熊本学習センターまでお問い合わせ
ください。

▼お問い合わせ先

放送大学熊本学習センター

☎096・341・0860

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	10月	年累計
人身事故	1	12
物損事故	21	168
盗難など	2	7

10月31日現在

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	
	10月	年累計
家屋	0	0
原野	2	3
その他	0	0
合計件数	2	3

9月16日～10月15日発生分

tax

町税などの滞納処分(10月分)

種別	件数・金額など
捜索	0件
差し押さえ件数	3件
公売回数	1回
公売件数	155件
滞納処分関連収入	134,720円

募集

町職員を追加募集します

町では、令和8年4月1日採用予定の職員を追加募集します。

▼申し込み受付期間

令和7年12月15日（月）～令和8年1月8日（木）

▼試験日

令和8年1月25日（日）

▼募集職種

一般事務（高卒程度）、一般事務（土木）、保健師、学芸員

詳細は、町総務課までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1140
（内線221）

環境影響評価準備書の縦覧
および意見の募集について

熊本県環境評価条例に基づき、上益城地域におけるエネルギー回収施設等設置事業にかかる環境影響評価準備書の縦覧と一般意見の募集が実施されます。

また、これらに係る説明会も行われる予定です。説明会の日時や内容

年末年始のごみ収集・し尿くみ取りについて

●家庭ごみ収集

	収集地区	収集日	クリーンセンターへの直接持ち込み
年末	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月29日（月）	・通常持ち込期限 12月29日（月） ※12月27日（土）・28日（日）のみ、直接持ち込可能 ・通常持ち込時間 午前9時～午後4時30分（正午～午後1時を除く） ・持ち込料 150円/10* ※個人の持ち込可 ※時間厳守
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月30日（火）	
年始	星の川団地、立岩団地・竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月5日（月）から	1月5日（月）から通常持ち込み可
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月6日（火）から	

▶お問い合わせ先 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎096 - 282 - 0688

●し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年末	全地区	12月27日（土）まで	年末は非常に混み合いますので、12月22日（月）までにお申し込みください。
年始	全地区	1月5日（月）から	通常受け入れ可

▶お申し込み・お問い合わせ先

- ・宮内地区、甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部、星の川団地①）、竜野地区、乙女地区、白旗地区（有）甲佐衛生社 ☎096-234-1217
- ・甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部を除く、星の川団地②）米村衛生（有） ☎096-234-0308

等の詳細は、町公式ウェブサイトをご覧ください。

▼お問い合わせ先

町環境衛生課

(町水道管理センター内)

☎ 096・234・1169



阿蘇の草原で畜産経営を行う 新規就農希望者を募集

阿蘇地域の広大な草原は、「野焼き」、「放牧」、「採草」の営みにより千年もの長い間維持されてきていますが、農家の高齢化などによる担い手不足の影響で、年々草原の放牧利用が減少してきています。

そこで、阿蘇地域振興局では、本年度から阿蘇の草原を活用しながら牧野を維持・管理できる担い手人材を育成するため、草原（放牧）を活用した畜産経営（今回は繁殖牛および肉用牛経営が対象）を行う新規就農希望者（研修生）の募集を開始しました。

就農を目指す研修生には、農家の技術研修に加え、畜産関係機関が連携した支援・研修を実施し、就農までの道のりを手厚くサポートします。就農を希望する方は、阿蘇農業普

及・振興課までお気軽にご相談ください。

▼お問い合わせ先

阿蘇地域振興局農業普及・振興課

☎ 0967・22・0622

くまもと林業大学校 生徒を募集

県では、くまもとの森林・林業を守りつなぎ、次世代をリードする林業担い手を育成するため、令和8年度くまもと林業大学校長期課程の生徒を次のとおり募集します。

林業未経験者も応募可能です。

本学の概要や入校案内、募集要項等については、「くまもと林業大学校」公式ウェブサイトをご覧ください。

▼願書受付期間

12月15日（月）～令和8年1月21日（水）

▼選考日

令和8年2月8日（日）

▼試験場所

県林業研究・研修センター

▼お問い合わせ先

県林業振興課

☎ 096・333・2444



くらし安全

年末年始における犯罪や交通事故を防止しましょう

例年、人の動きや物流が活発になる年末年始は、車上ねらい、乗り物盗（自動車盗、オートバイ盗や自転車盗）、万引きなどの犯罪が多発します。

また、車の利用が増えることに伴って、交通事故も増加します。

不審な人物を見かけたらすぐに「110番」通報するといった防犯対策など地域ぐるみの活動で犯罪や交通事故などを未然に防止しましょう。

▼お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会

☎ 096・282・1110

電話勧誘販売や送り付けの トラブルに注意！

毎年、年末にかけて、「数年前に購入いただいた海産物を今年もお送りします」との一方的な海産物の電話勧誘や、頼んでいない商品が突然届く「送り付け商法」のトラブル発生が心配されています。

購入するつもりがない場合は、はっきりと断ることが大切です。ま

た、届いた商品は受け取らず、代金も支払わないようにしましょう。

消費者トラブルでお困りの際は、町消費生活相談窓口または県消費生活センターにご相談ください。

▼お問い合わせ先

甲佐町消費生活相談窓口

☎ 096・234・3223

・県消費生活センター

☎ 096・383・0999

子どものゲームや推しへの 無断課金にご注意ください

最近、スマホやタブレット、オンライン通信ができるゲーム機器でのゲームや推し活に夢中になったお子さんが、保護者の知らないうちに高額課金してしまうケースが見られます。

ご家庭での使い方ルールを話し合い、設定やパスワードの管理などを見直してみましょう。

お困りの際は、町消費生活相談窓口または県消費生活センターにご相談ください。

▼お問い合わせ先

甲佐町消費生活相談窓口

☎ 096・234・3223

・県消費生活センター

☎ 096・383・0999

literary work

うたごよみ ～師走～

〔短歌〕

赤星延子 選

風に乗り狭庭に香る木犀は
黄金色して秋を連れくる

吉永由紀子

晩秋の庭に降る雨肌寒く

一気にもみじ色つきはじむ

内田乃武子

刈り終えし田畑は静かで翌年の

実のための準備をしをり

緒方 明美

もう一度命となって甦れ

野菜くず埋め大地に還す

岡部 律子

歳重ね忘れる事が多くなり

チラシの裏がメモ帳替わり

池田キヨ子

遠くでの百舌の高鳴き耳にして

しみじみ思う冬の近きを

赤星 延子

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎ 096・234・2447 (内線321)



〔肥後狂句〕

北川直美 選

新聞代

スマホに比べ安かもん

広田みどり

新聞代

たかんば貯金為になる

志垣 光

新聞代

高い分しっかり読めよ

平井やよい

新聞代

若つか者ンには予算なし

光永 六

新聞代

載せなけりゃ払わんばいた

井元あざみ

新聞代

食費に回す物価高

日高 美里

新聞代

三ヶ月分前払い

上田 梅清

新聞代

折り込み料に助成され

北川 直美

ひとの動き

10月11日(土)～11月10日(月)届出

お誕生

住 所	氏 名	性別	保護者
下横田	荒田 彩葉 ^{いろは}	女	知 輝

ほか2人

ご結婚

今月の婚姻夫婦 3組

お悔やみ

住 所	氏 名	年齢	世帯主
中横田	村田 三郎	82	和 博
緑 町	村上 彪	96	彪
坂 谷	伊藤 弘	82	光
早 川	宮本いずみ	54	眞 二
中横田	松岡 勇治	61	勇 治
下横田	寺岡 保子	95	保 子
西寒野	福田シゲ子	94	シゲ子

ほか5人

ふるさと甲佐 応援寄附金

▶ご寄附いただいた皆様

お名前	ご住所
・村上 茂樹様	熊本県
・土屋 輝昌様	東京都
・金子 力様	埼玉県
・前川 裕昭様	東京都
・栗川 勉様	大分県

ほか多数

■お問い合わせ先

町地域振興課

☎096-234-1154

ふるさと納税の
詳細はこちらを
チェック!▶



「広報こうさ」ア
ンケート実施中!
ご協力をお願いし
ます▶



Let's make health

甲佐の野菜で作ってみよう!

白菜と肉だけのごま鍋

レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん (北原区)



【材料 (2～3人前)】

ハクサイ …………… 1/4株
豚バラ薄切り肉 …………… 400g[㍻]
ショウガ …………… 親指大2個
ニンニク……………好みの量
ごま油……………大さじ1.5
すりごま …………… 大さじ4
【合わせ調味料】
水 …………… 4カップ
好みのみそ……………大さじ3
固形チキンスープ……………2個
赤酒……………大さじ2
塩 …………… 小さじ4分の1
砂糖 …………… 大さじ1～2

【作り方】

①ニンニク・ショウガはみじん切りしておきます。
②ハクサイはザクザク切っておきます
③肉は食べやすい大きさに切ります。
④合わせ調味料を作っておきます。
⑤土鍋などにごま油を熱したら、①と肉とハクサイの芯を炒めます。肉の色が変わったら葉を加えます。
⑥合わせ調味料を⑤に加え、煮立ったら弱火に落しふたをして、5～6分くつくつと煮込みましょう。
⑦最後にすりごまを振り入れ、全体を混ぜふたをして、2～3分煮たら出来上がりです。

ご存じですか?

ハクサイやダイコンなどのアブラナ科の野菜に含まれている辛み成分を、「イソチオシアネート」と言います。この成分には、がん物質の排出を高める作用があると報告されているってご存じですか? また、豚肉やウナギなどに豊富に含まれているビタミンB1は、疲労回復にとっても役立ち、元気に過ごすための大事な栄養の1つです。そんな白菜と豚肉をたっぷり使ったこの鍋を食べ、寒い冬を元気に過ごしましょう。

あつという間に、もう12月。今年も残り1か月となりました。12月の和暦「師走」。年末の慌ただしさや締めくくりの時期を指しますが、私は仕事と家事と育児に追われ、締めくくりが無事できるのか心配でなりません。今月号の特集では、11月16日(日)の総合防災訓練を取り上げています。町内各所で避難訓練や消火訓練などが行われましたが、今回は、8月の豪雨災害を経験した後の訓練ということと、訓練に取り組む町民の皆さんの姿も、いつも以上に力がかかっているように見えました。取材を通して、災害に備える大切さを再確認することができ、訓練後の炊き出しの振る舞いでは、皆さんの笑顔も見ることができ、充実した1日となりました。(み)

編集後記

蓑田 明子さん
Meiko Minoda

〔芝原区〕

休みの日は音楽を聞いたり、お気に入りのカフェを巡るのが楽しみ。甲佐の自然豊かな環境が魅力的なので、アウトドアにも挑戦してみたいと笑顔をみせる。

看護・養護の視点を生かし 高校生の学びと心をサポート

10月、新しい地域おこし協力隊として甲佐高校内の公営塾「あゆみ学舎」に着任した蓑田明子さん（芝原区）。沖縄県で生まれ、幼い頃に父親の転勤で芦北へ移り住み、そ

の後も引つ越しを重ねながら熊本市内で育った。これまで学童保育、高校の養護教諭、看護師としての学級支援員を歴任してきたが、どの仕事でも向き合ってきたのが「子ども

私たち」だ。

おっとりとした優しい雰囲気、まといながら、まっすぐ未来を見つめる瞳が印象的な蓑田さん。養護教諭として働いていた頃は、生徒たちの話し相手となり、進路相談や学校生活の悩みに寄り添ってきた。「保健室に来る子どもたちが少しずつ笑顔を取り戻し、教室へ戻れるようになる姿を見る

と、本当に嬉しくて」と振り返り笑みをこぼす。

そんな蓑田さんが地域おこし協力隊という選択肢に出会ったのは、自身のこれからの悩んでいた時期。学生時代からお世話になっていた、町内で働く知人の紹介がきっかけだった。「もう一度、高校生と関わる仕事がしたい」という想いが胸の奥に再び芽生え、挑戦する決意を固めた。

「あゆみ学舎」に来て、まず感じたのは、生徒たちの素直さと地域の温かさです。もっと生徒のことを知りたいし、たくさん会話を重ねながら信頼関係を築いていきたい」と語る蓑田さんは、すでに活動している先輩協力隊の島袋玲さんと協力しながら、自分ができることを少しずつ見つけている最中だ。「あゆみ学舎は甲佐中学校ともつながりがあり、幅広く活動できると聞いてとても魅力的でした」と明るく語る。協力隊としての活動を支えるもう一つの強みが、学生時代に所属していた英語部で培った語学力。「英語が好きなので、子どもたち

が英会話を楽しめる取り組みもできたら面白いですね」と新しいアイデアも浮かぶ。

自宅から眺める田んぼの景色や通勤途中の山や川の風景に癒やされる日々が続いているという蓑田さん。「自然豊かな環境で過ごす時間が、心を落ち着かせてくれるんです」と甲佐への親しみも感じてくれている。

協力隊任期後の将来について尋ねると、「まだはつきりとは決まっていませんが、協力隊向けのセミナーに参加する中で「起業」という選択肢も見えてきました。いろんな可能性を検討しながら、自分の道を探していきたいです。そして、これからも甲佐町の子どもたちに寄り添える活動を続けたいです」と、穏やかでありながら力強い言葉が返ってきた。

新しい環境で、子どもたちの笑顔に寄り添いながら、自らも新たな一歩を踏み出した蓑田さん。「あゆみ学舎」で、これからどんな化学反応が生まれていくのか——その歩みが楽しみでならない。